



# 新日本婦人の会 2022年度予算要求書を提出

11日、新日本婦人の会江津支部（支部長・山崎淳子―以下、新婦人）が、山下市長へ2022年度での予算要求書を提出し、懇談しました。

## 女性や子どもの願い 9項目の予算化求める

新婦人では、女性・子どもへの願いや要望を行政や市議会に届ける運動を続けており、市長に対しては懇談して要望を届け、市議会には陳情書を提出してきました。

改善・実現したものもあれば、実現できていないものもあるため、今回は22年度予算編成の時期に合わせて、要望をとり入れてもらえるよう要求・懇談しました。

- ◆設置を要望し実現しているが、次は小中学校の体育館へのエアコン設置を。
- ←面積が広く天井が高いため、設置費に加え維持費が高額になる。慎重な検討が必要。
- ◆避難所に段ボールベットやプライバシー保護のための仕切りの配備を。
- ←避難所の地域コミュニティ交流センターや防災備蓄倉庫に備蓄している。
- ◆公共施設でのWi-Fi環境の整備を。
- ←パレット江津・市民体育館・新庁舎では利用できる。

- ◆財政状況で困難。
- ◆子どもの医療費の中学校卒業までの無償化を。
- ←県から半額助成を受け、小学生の無償化を開始している。支援のあり方の一つとして検討する。
- ◆国民健康保険の均等割から子どもを除外し、保険料の軽減を。

- ←22年度から未就学児に5割減額が行われる。さらなる減額は考えていない。
- ◆地場産センターのトイレの洋式化を。
- ←2階のトイレの洋式化を進める予定。
- ◆学校のトイレ環境改善を。

←学校生活を送る上で必要と考え、改修を検討する。

◆インフルエンザ検査とPCR検査を同時に検体採取できるよう予算化を。

←市内の医療機関で対応できるよう体制を整備している。

## 学校のトイレへトイレットペーパーと同じように生理用品を常備するよう迫る

### 旧態依然とした 市長の認識

#### 市長の認識

「学校のトイレ環境改善」のなかで、学校のトイレにトイレットペーパーと同じように生理用品を置いて欲しいと要望した際、市長は「設置場所の問題もあり、トイレでは管理が難しい。すでに設置している保健室へ行ってほしい」とし、市議会の一般質問での答弁と同様に「保健室の利用で、経済的な問題などで困っている子どもの状況を把握できる」と把握できました。

これは人権の問題であり、世界でも日本でも大きな流れになっていく」と懇談に参加した会員から次々と声が上がりました。これには市長も「勉強する」と答えました。

## 低年金生活者の暮らしは大変

この度の総選挙では、コロナ禍での生活苦、とりわけ現役世代のパート・アルバイト、非正規労働者に焦点が当てられ、その対応が争点の一つになりました。

今後どうなるのか」など、深刻で不安な毎日を送っている人がたくさんいます。

年金の種類や保険料をかけた年数によって、年金の受給内容は変わりますが、年金者組合の資料によれば、年金受給者の総数は約44万7千7百64円。

納付25年未満ので平均月額額は男性1万9千107円、女性1万8千969円。年金月額が10万円未満の人は男性11万3千人（7・1%）、女性2万6千人（16・1%）で、女性だけでみると50%を超えています。低年金は

年金は2013年度から2021年度までに6・5%も下がっています。2004年に導入されたマクロ経済スライド（年金水準を自動的に引き下げる仕組み）が原因です。安心して暮らせる年金制度へ、変えようではありませんか。

00万人。うち厚生年金加入者は1500万人、国民年金加入者は2900万人です。厚生年金は企業に雇用され、労使折半で保険料を払っていますが国民年金は個人払いです。国民年金加入者には「保険料が高額

で、高齢者の生活はどうなのかという点はあまり話題になりませんでした。65歳以上の人を高齢者と言いますが、これらの人の多くは年金受給者です。「年金が少なくて生活ができない」「生活を切り詰めてなんとか暮らしている」「年金が

だんだん減ってきている。

年金者組合 河野哲雄

お悔やみ申しあげます (敬称略)

12日	森岡	清	(89)	跡市町
13日	高澤	早苗	(67)	江津町
13日	佐々木	昇	(97)	黒松町
14日	佐々木	龍一	(45)	都野津町
15日	岡本	夫	(63)	跡市町
15日	大屋	篤志	(61)	都野津町
16日	浜浦	真美	(64)	渡津町